

帝塚山^山派文学学会 会報 第27号

発行日： 2026 年 4 月 30 日

事務局：〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山学中 3-10-51 帝塚山学院内

実務事務局：電話 080-1460-6616 / Mail : telite2016@maia.eonet.ne.jp

第 28 回研究会報告

2025 年 12 月 14 日（日）午後 1 時 30 分より 4 時まで帝塚山学院本部棟同窓会ホールにおいて第 28 回研究会が会員 18 名の参加のもとに開催されました。

最初の発表は、代表の河崎良二さんによる「阪田寛夫の童謡観」でした。

童謡作家として世に知られている阪田ですが、意外に自分の童謡についてあまり語ってはならず、河崎さんは童謡に関する阪田の三つの本『童謡でてこい』、『どれみそら』、『童謡の天体』からうかがえる阪田の童謡観を、日本の童謡の変遷に照らしながら浮き上がらせて行きました。

阪田は、昭和 40 年代ころから創作童謡の意義がなくなっているのではないかという意味の発言をしています。阪田のめざした童謡は「メロディーとして自立して子供や大人のタマシイに入りこむ」ものでしたが、ビートルズやフォークソングの流行によって曲がギターで作られるようになり、「詩人の意図した微妙な言葉の音楽を」作曲者が捉え、「魅力のある歌」として定着させるというような作り方がなされなくなったと考えているからです。

阪田は、明治期に文部省が否定したわらべうたを、子どもたちが共通のものとして持っている感情のひろがりを伴っているがゆえに、非常に大切なものと考えていました。彼にとって童謡は寂しさや不安定なところから生まれるものですが、その自分の弱みを薄手の感傷主義にさらさず、暗さと明るさを合わせ持つような作品に仕上げていたことが証されました。

発表後には、阪田らが昭和 38 年に結成した「6 の会」の趣意書に述べられていたことは実践されたのか、わらべうたとはどのようなものを指すのか、等の質問があり、活発な応答が行われました。

第二の発表は山口志郎さんによる「伊東静雄と田中光子、そして三島由紀夫」でした。

昭和 19 年 5 月、三島由紀夫は処女短編集『花ざかりの森』を出版するに際して伊東静雄に序文を依頼するために大阪に来ました。三島は中学時代に伊東の詩を読み、心酔し、師と仰いでいました。伊東は自宅に招き夕食をご馳走しながら歓談しましたが、序文は断り、その日の日記に「俗人」と記しました。一方、三島の伊東に対する敬愛の念は生涯変わりませんでした。

その前年、無名の詩人田中光子が詩集『高原』を伊東に献呈し、指導を願い出ました。『高原』は伊東の『わがひとに與ふる哀歌』に想を得たものでした。伊東は田中の詩に興味を持ち、添削し、矢継ぎ早に葉書を三通出しています。その後、田中の第二詩集『晩春』出版のための指導を昭和 28 年まで続けますが、ほとんどは書簡によるもので、18 通が残っています。出版を目前にした昭和 24 年 6 月に伊東が肺結核を発病し、10

月に入院し、出版は取りやめになりました。伊東は昭和 28 年 3 月に亡くなります。その後田中の第二詩集は『わが手に消えし霞』として昭和 45 年に三島の助力で出版されました。三島が自決する一週間前のことです。その経緯を明らかにされた山口さんの発表は非常に興味深いものでした。

昭和 18 年から 20 年といえば、庄野潤三が伊東静雄から同人誌「まほろば」の中心人物林富士馬を紹介され、「まほろば」を通して三島と交流があった年です。今後、無名の詩人田中光子の情報が出てくれば、当時の伊東や庄野に新たな光が当てられることでしょう。

2025 年度公開講座

2026 年 3 月 28 日（土）午後 1 時半より 3 時半まで本学会会員佐々木安博さんによる公開講座「庄野潤三・阪田寛夫と ABC 朝日放送」が会員 15 名の参加のもとに開催されました。フェスティバルホールから朝日放送本社までまち歩きを行い、その後朝日放送内を見学し、講演「庄野潤三・阪田寛夫と ABC 朝日放送」を聞きました。

第 12 回総会開催予定

日時：2026 年 6 月 28 日（日）13:00～15:00 場所：帝塚山学院本部棟同窓会ホール

2026 年度 研究会開催予定

第 30 回研究会 2026 年 9 月 20 日（日）13:30～16:00

第 31 回研究会 2026 年 12 月 6 日（日）13:30～16:00

第 32 回研究会 2027 年 3 月 7 日（日）13:30～16:30

『紀要第十号』刊行

2026 年 3 月 31 日に刊行し、会員各位のご自宅へお送りしました。

2026 年度 個人会員会費納入のお願い

本年度会費未納の方は 2026 年 5 月中に会費を納入していただきますようお願いいたします。既に本年度会費を振り込まれた方には本欄を借りて御礼申し上げます。

○個人会員会費は年額 3,000 円です。振込先口座は以下の通りです。

振込手数料は、会員各位のご負担にてお願いいたします。

1. 「ゆうちょ銀行」に口座をお持ちの方は、以下の口座へ。

記号：14090 番号：44663301 名称：帝塚山派文学学会

2. 他の金融機関から当学会の「ゆうちょ銀行」口座に振り込む場合は以下の口座へ。

店名：四〇八（ヨンゼロハチ）店番：408

預金種目：普通預金 口座番号：446633 名称：帝塚山派文学学会

○ 問合せ先：080-1460-6616（事務局担当：梶野隆平）